



日本海中部地震の際の弘前市内の被害(弘前市提供)

# 日本海中部地震から35年 十勝沖地震から50年



日本海中部地震の際の弘前市役所内(弘前市提供)

## 地震災害軽減に関するシンポジウム

今年、1983年日本海中部地震から35年、1968年十勝沖地震から50年の節目の年にあたります。津軽地域では、幸いなことに日本海中部地震以降は大きな被害となった地震はありませんが、一方で記憶の喪失や災害軽減意識の低下が気になるところです。そこで、過去を振り返り、将来にそなえるために最新の知見を市民の皆様と共有する機会を設けました。是非ご参加下さい。

日時と場所： 5月18日(金), 18:00~20:00

弘前大学工学部第10講義室(1号館5階), 弘前市文京町3

対象： どなたでも無料で参加できます

主催： 弘前大学工学部

連絡先： 弘前大学工学部地球環境防災学科 片岡俊一

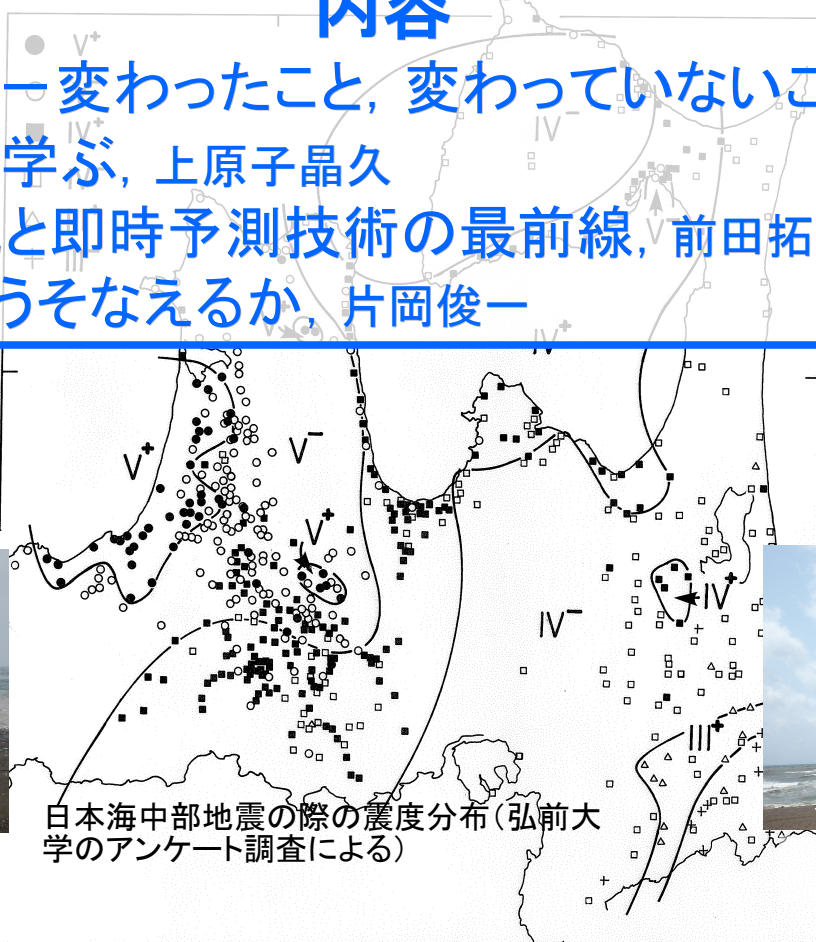
Tel: 0172-39-3616, E-mail: kataoka@hirosaki-u.ac.jp

### 内容

あれから35年一変わったこと, 変わっていないこと, 小菅正裕  
台湾の地震に学ぶ, 上原子晶久  
津波発生研究と即時予測技術の最前線, 前田拓人  
次の地震にどうそなえるか, 片岡俊一



岩木川河口。右下の写真の遠景この場所で、日本海中部地震当時、津波から避難する人々の写真が撮られた



日本海中部地震の際の震度分布(弘前大学のアンケート調査による)



岩木川河口に立つ津波の塔